

三水会全記録 1979年～2020年

赤字は会誌発行、緑は特別外地での催行

	開催日	テーマ	会員外講師 敬称省略	会員講師
		1979年S54(第1回～第8回) 第1年		
1	4.18	設立発起懇談会	新宿西口住友ビル住友クラブで開催	
2	5.9	創業から20年の歩み		羽鳥 宏
3	6.6	コンピュータ事業、技術の今日事情		伊藤公博
4	7.25	欧州における消費者市場の今日事情		岡本好廉
5	8.27	損保のシステムと業界の問題点		前田英介
	9	休会		
6	10.8	労働金庫の実情		杉本時哉
7	11.19	印刷製版業界の現況		村澤 泉
8	12.21	忘年会		
		1980年S55(第9回～第18回)		
9	1.28	中国の最近の事情	宮下春男	
10	2.12			
11	3.19	不動産の価格と推移	岸田研二	
	4	交通ストのため中止		
12	5.14	漢字情報処理上の問題点		羽鳥 宏
13	6.18	米国流通事情視察報告		岡本好廣
14	7.18	シルクロードの旅		萩尾 昇
15	8.27	視機関(のぞきからくり)からポケットテレビへ		野口幹夫
16	9.17	銀行、証券、グリーンカード		大利貴彦
17	10.22	印刷製版におけるコンピュータ利用		村澤 泉
18	11.26	エンドユーザーのためのソフトウェア		伊藤公博
	12	休会		

大平内閣
スリーマイル原発事故
サッチャー首相

善幸内閣
レーガン大統領
ジョン・レノン暗殺
鈴木

1981年S56(第19回～第29回)				
19	1.24	日本酒の話	越生酒造 新井正一郎	
20	2.18	最近の広告キャンペーン		萩尾 昇
21	3.25	ミクロの世界を散歩する		久米川正好
22	4.15	放射能分析と年代測定		石坂雅彦
23	5.2	金の話		大利貴彦
24	6.2	ボートピア見学(ホテル京阪大阪)		
25	7.23	QC 活動と我が経営		羽鳥 宏
26	9.9	教育産業と教科書		森 毅一
27	10.14	全観データシステム		杉本時哉
28	11.18	米国における OA		野口幹夫
29	12.23	超能力について(忘年会新有楽町ビル)		村澤 泉
1982年S57年(第30回～第41回)				
30	1.26	新年会(博尚クラブ)		
31	2.24	緑のコンビナート		村尾行一
32	3.17	「がんばれ小さな仲間達」	製作者 茂木正年	
33	4.21	イスラムの文化	三菱商事 国友輝雄	
34	5.19	モルジブ共和国との出会い		堀添勝身
35	6.16	海洋問題をめぐる国際関係	ルギー庁 難波武夫	
36	7.21	7. 21 バイオテクノロジーについて	三菱化成 佐藤哲治	
	8	休会		
37	9.8	アメリカの通信事情と日本の現状		小寺隆三
38	10.28	科学映画をみる(ポーン命と血管)	久米川氏指導 ヨネプロ 小林米作	
39	11.17	わが広報誌発行の苦戦記		市原 実
40	12.15	中・小型コンピュータをとりまく諸問題		伊藤公博
41		忘年会 六本木瀬里奈		

江青死刑 台湾航空機墜落向田邦子死亡
千代の富士・北の湖時代 豪雪。

フォークランド紛争 中曽根内閣 東北新幹線
ソニー世界初のCD 岡本綾子アメリカ初優勝

1983年S58年(第42回～第53回)				
42	1.18	New Media 事情の動向について		野口幹夫
43	2.16	子供と本を読む	児童問題研究家 山本松代	
44	3.17	レトリックが市場を拓く		萩尾 昇
45	4.2	The Bone(久米川氏指導の科学映画)	ヨネプロ 小林米作	
46	5.18	仕事で遊ぶ法	作家 渡辺一雄	
47	6.15	ロボットの安全	東芝 柳津静保	
48	7.28	有機も化学も超えた林業式農法		村尾行一
	8	休会		
49	9.22	日本とアメリカやぶにらみ比較論		岡本好廣
50	10.19	魚はなぜ釣れるか	城西齒大 前田恵彦	
51	11.16	中・小型コンピュータをとりまく詰問霧		伊藤公博
52	12.21	, 84 国際・国内経済やぶにらみ展望	労金連 小野修也	
53		忘年会 つきじ植むら高島茶寮		
1984年S59年(第54回～第64回)				
54	1.18	CMにおける笑い	博報堂 藤井達朗	
55	2.15	知られざる超 LSI の世界		野口幹夫
56	3.21	現代の少年非行	浦和家裁 中原尚二・	
57	4.18	核燃料サイクルの技術と将来		石坂雅彦
58	5.16	ヨーロッパに見る新しいオフィスの考え方とその意味	経営コンサルタント 渋谷 駿	
59	6.2	企業小説と現実のはざま	作家 佐高 信	
60	7.18	明治四年のアンバサドル	作家 泉 三郎	
	8	休会		
61	9.19	当世出版事情		森 毅一
62	10.25	万葉の歌人達の計算用具	日本 IBM 内山 昭	
63	11.21	青空と虹の環境を求めて(近代精版新本社見学)		村澤 泉
64	12.19	ワインについて(忘年会渋谷コルサ)		野口幹夫

PL 桑田・清原で優勝、衆院自民党惨敗
 インターネット始まる 大韓航空機撃墜事件

アップルがマッキントッシュ発表 江崎グリコ
 事件 インディラ・ガンジー暗殺

1985年S60(第65回～第76回)			
65	1.18	シリコンバレーの話	一橋大 今井賢一
66	2.28	漁業と魚の人工養殖の将来	北里大 藤野和男
67	3.28	ふきだまりの日本の音楽	博報堂 塚本和男
68	4.17	国際経済をめぐる問題点	野村総研 山内一三
69	5.15	サッポロビール恵比寿工場見学	サッポロワイン 柴田芳文
70	6.19	つくば科学博見学	
71	7.17	中国見たまま	小倉光雄
72	8.21	商社	小寺隆三
73	9.18	金属が形状を記憶する	石坂雅彦
74	10.16	樺太ーその歴史、風土、	岡本好廣
75	11.28	入歯は話しかける	東京歯大 鈴木和男
76	12.18	人相手相裏話(忘年会銀座ルネ)	星運学会 竹中無確
1986年S61年(第77回～第88回)			
77	1.13	トップリーダーの人間学	コンサルタント 井浦康之
78	2.19	ウソ・ホントの見分け方	元検事 鈴木祐一
79	3.19	賀川豊彦と灘神戸生協	日生協連理事 友貞安太郎
80	4.3	現代思想のキーワード	東京経済大 今村仁司
81	5.22	ソ連・東欧語国の協同組合運動の歴史と現状	工学院大 今井義美
82	6.2	C. I. について	博報堂 レイ・ヨシムラ
83	7.16	最近の国際金融事情をめぐって	金融財政事情研究会 光村 司
84	8.27	中国のマーケティング事情	小倉光准
85	9.17	PERSONALCOMPUTERの展望	伊藤公博
86	10.15	科学が明かす歴史のロマン	石坂雅彦
87	11.19	帰朝報告(オーストリア)	村尾行一
88	12.3	忘年会・湖南料理	雪圈 北村浩之

3人決定 JAL御巣鷹墜落坂本九ら520名死
 ゴルバチョフ登場 科学万博 宇宙飛行士毛利ら

チェルノブイリ爆発 チャレンジャー爆発
 国鉄分割民営化 阪神タイガース21年ぶり

		1987年S62(第89回～第100回)	
89	1.21	The BoneーⅡ	久米川正好
90	2.18	元銀行マンから見た企業と入	元第一勧銀 関本 毅
91	3.7	緑健農場見学(永田氏)	村尾行一
92	4.15	日本経済のソフト化について	ソフト化経済センター 砂川福七郎
93	5.2	気の原理とストレスクリーニング	堀添勝身
94	6.1	農業は先進国型産業である	国民経済研究協会 叶 芳和
95	7.15	情報網と企画力で成功する法	コンサルタント 青木匡光
96	8.19	話し継ごう戦争体験	作家 早乙勝元
97	9.16	新人類を幼児教育からみる	千葉大 比留間一成
98	10.21	ネルソンシステムと朝日新聞社見学	日電エンジニアリング 梶 光雄
99	11.18	生活協同組合運動の新しい波	杉本時哉
100	12.2	米国における保険危機と最近の損保の流れ	木村 勉
		1988年S63年(第101回～第112回) 第10年	
101	1.2	南アフリカの奇跡	三菱建設 若林高義
102	2.17	社名おもしろ話	市原 実
103	3.16	流通動向と今後の展望	岡本好廣
104	4.2	学習指導要領改訂とこれからの学校教育	花藤公要
105	5.18	健やかに老いる為に	医師 福井光寿
106	6.15	尊徳・二宮金次郎へのアプローチ	伊藤公博
107	7.20	倭人とフェニキア人	留目和美
108	8.24	舞台からみえてきた音楽	野口幹夫
109	9.21	三水全会報づくりをめぐって	森 毅一
110	10.19	中小企業金融の変遷と開幕	平石裕一
111	11.16	変革の戦略行動学	アクティビジネス 大西啓義
112	12.7	忘年会(六本木貴奈)	

米ソ首脳会谈冷戦終了 竹下内閣発足。利根川進
ノーベル賞 2003 携帯サービス開始

ペレストロイカ開始 イラン・イラク戦争停戦
インターネット米国外へ進出

<u>1989年S64年(第113回～第124回)</u>			
113	1.18	ブッシュの米国経済	三和総研 田中英俊
114	2.15	リクルートという会社	岡本好廣
115	3.15	光の話	野口幹夫
116	4.19	石油の話	日本石油 河野 廉
117	5.17	隠れた古代文明「カタカムナ文明」	東京計算サービス 堀田展弘
118	6.21	文化創造の時代	昭和女子大 内山東平
119	7.19	相互銀行普銀転換のイメージ戦略	市原 実
120	8.23	現代の仙人修業法	大貫 亮
121	9.2	企業進化論	日本 IBM 梶谷通稔
122	10.18	ハイビジョンについて	小寺隆三
123	11.15	経営コンサルタント業界の実態	日本経営士会 松本幹雄
124	12.6	忘年会(浅草みよし)	
<u>1990年H2(第125～136回)</u>			
125	1.6	中年からの栄養学	ドウ・スポーツ 淵上匠子
126	2.21	ハンガリー情勢	ハンガリー大使館員 ダフローナキ
127	3.22	写るんですと電子カメラ	湯沢勝利
128	4.18	大気に異変が起きている	石坂雅彦
129	5・23	会誌発刊を終えて(合評)	会誌 山水1号発行 森 毅一
		ヨーロッパの近況	村沢 泉
130	6・21	コンピュータ社会と職業病	神奈川県勤労者生協港町診療所長天明佳臣
131	7・18	鉄と俘囚の歴史	荒川工業高校教諭 柴田弘武
132	8・22	西郷隆盛の謎を追う	森 毅一
133	9・19	日米貿易について	在日米国大使館商務官 山口良二
134	10・20	機械翻訳の現状	伊藤公博
135	11・20	クジラをめぐる世界と日本	国際漁業問題評論家 梅崎義人
136	12・ 6	忘年会(銀座・いけす長兵衛)	

消費税施行
天安門事件
ベルリンの壁崩壊
昭和天皇崩御

宙望遠鏡
バブル崩壊
フジモリペルーの大統領
ハップル宇
ゴルバチョフノーベル平和賞

		<u>1991年H3(第137~148回)</u>		
137	1・16	尊徳の思想と現代文明	報徳博物館館長 佐々井典比古	
138	2・19	最近における知的所有権の問題	日本 IBM 常務法務担当 高石 一	
139	3・20	不思議な法律「大規模小売店法」		市原 実
140	4・17	チュニジアでの二年間	海外青年協力隊事務局 川石道子	
141	5・15	商法改正の動向	慶応義塾大学教授 阪埜光男	
142	6・19	社会生活のニーズ変化と家具	(株)ミネルバ社長 宮本茂紀	
143	7・17	新興宗教を考える		岡本好廣
144	8・28	IBM の地図情報システム	日本 IBM 村田 正	
145	9・18	戦略問題としてのM&A		羽鳥 宏
146	10・20	湾岸戦争後のイラク	平和活動家 斎藤千代	
147	11・20	日本語入力20年の歩み		中原雄三
148	12・2	忘年会(有楽町・レバンテ)		
		<u>1992年H4(第149~160回)</u>		
149	1・22	顧客満足度向上感	マーケティングインテグレーションインターナショナル 社長高野正之	
150	2・19	大相撲よもやま話 相撲評論家	相撲評論家 三谷光司	
151	3・18	骨の分子生物学 城西歯科大学教授		久米川正好
152	4・15	協同組合の基本的価値と日本の生協		岡本好廣
153	5・21	電電公社・国鉄の民営化について	アジア経済研究所キグリチュ・イシュツヴァーン	
154	6・17	生活大国と農協の国際化	元北海道農協共済連会長 梶浦福督	
155	7・15	サテライトオフィスの現状と将来	日本サテライトオフィス協会専務千野正勝	
156	8・26	異説・千利休はスペイン人だった	日本美術家連盟会員画家 谷口明久美	
157	9・16	倒産学入門(企業倒産の実情)	帝国データバンク情報部 柳沢康行	
158	10・2	キリストと私		野口幹夫
159	11・2	「気」の奥義にせまる		村沢 泉
160	12・2	忘年会(両国・WAGO)		

ソビエト崩壊ゴルバチョフ辞任
宮澤内閣発足。雲仙普賢岳噴火
湾岸戦争勃発

ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争
ヤトル搭乗 貴花田 小錦 曙時代
毛利衛スペースシ

<u>1993年H5(第161~171回)(火曜日に開催)</u>			
	1・20	中止	
161	2・17	古代陸奥の政庁多賀城	石坂雅彦
162	3・16	社会的経済とは何か	一橋大学経済研究所長富沢賢治
163	4・20	韓国・朝鮮人とのつきあい方	一橋大学講師 安 宇植
164	5・18	私の歩んできた道	作家(在中国)金 学鉄
165	6・15	ポルトガル漫遊記	杉本時哉
166	7・20	バブルのあとさき	平石裕二
167	8・25	バブル後の不動産活用事情	市原 実
168	9・21	相馬藩における報徳仕法	伊藤公博
169	10・20	超科学の扉	木村 勉
170	11・20	戦国武士はキリストに何を見たか	野口幹夫
171	12・10	日本人とは何か(旧石器縄文弥生の人々)	森 毅一
<u>1994年H6(第172~183回)(火曜日に開催)</u>			
172	1・18	骨と細胞(骨シリーズ第3弾)	久米川正好
173	2・15	消費不況はどこまで回復するか	岡本好廣
174	3・15	消費者金融の現状	大和貴彦
175	4・19	イタリアと音楽	村沢 泉
176	5・17	世界史におけるアラブの役割	小寺隆三
177	6・21	イタリアオペラとカンツォーネの夕べ	声楽家 村沢健一 諏防佳子
178	7・19	監査役からみた企業社会	野口幹夫
179	8・23	蕪村について	伊藤公胤
180	9・20	空間心理学・三次元の世界が人に与える効果	セラピスト丸野六雄
181	10・20	生産協同組合について考える	杉本時哉
182	11・20	イカの話	松岡 勉
183	12・2	忘年会(両国・かど家)	

クリントン米大統領
 江沢民国家主席
 細川内閣
 皇太子小和田雅子成婚
 河野談話

マンデラ勝利
 細川辞任
 羽田↓村山内閣発足
 大江健三郎ノーベル賞
 三内丸山遺跡

		<u>1995年H7(第184～195回)(火曜日開催)</u>		
184	1・17	砂漠の緑化	小倉光男 中原千鶴子	中原雄三
185	2・21	子供たちが伝える“真理の世界”	そばうち名人 加藤晴之	
186	3・22	開放に転じたミャンマーの社会と経済		岡本好廣
187	4・18	レクイエムの系譜		野口幹夫
188	5・16	マーケティングがおもしろい		市原 実
189	6・20	魏志倭人伝と考古学		石坂雅彦
190	7・18	野鳥の話		羽鳥 宏
191	8・22	最近のパソコン事情		伊藤公胤
192	9・19	旧約聖書の世界(その1)		小寺隆三
193	10・20	近代報徳—明治以降の報徳運動—		伊藤公博
194	11・20	戦後50年をどう考えるか	会員全員	座長 中原雄三
195	12・2	忘年会(両国・かど家)		
		<u>1996年H8(第196～207回)</u>		
196	1・16	曾祖父を通して見た明治維新		森 毅一
197	2・20	労働者協同組合のめざすもの	協同総合研究所副理事長管野正純	
198	3・19	持続可能社会への道	生協総合研究所主任研究員大島茂雄	
199	4・16	鉄道の技術を守った人々	和光大学教授 原田勝正	
200	5・21	韓国事情	日韓経済研究センター所長 間部洋一	
201	6・18	伸び続けるアメリカの『水』産業	国際行商人 浅田康子	
202	7・16	豪州ニュージーランドの高齢者福祉		岡本好廣
203	8・27	「漢字スパット」を開発して		中原雄三
204	9・18	食糧自衛を目指す新しい村づくり	むら研究会会長 宮城正雄	
205	10・20	ピーター・ブリューゲルについて		伊藤公胤 野口幹夫
206	11・20	携帯電話について		小寺隆三
207	12・11	忘年会 富士通築地クラブ		

阪神淡路大震災 オウム真理教地下鉄サリン事件
従軍慰安婦問題平和国民基金

李登輝台湾総統 0157食中毒 橋本龍太郎
内閣 日本でウェブサイトを本格化

		<u>1999年H11(第232~243回)(火曜日に開催)</u>	
232	1・19	東洋にキリスト教を伝えて消えた聖トマス	野口幹夫
233	2・16	垣間見た中国国有企業の実態	岩崎信二
234	3・16	金融機関の各付けについて	藤本 将
235	4・20	琉球の歴史	大利貴彦
236	5・18	ヴァイキングと北欧の国々	岡本好廣
237	6・15	私の好きな仏像	平井 保
238	7・13	大久保利通	元富士ゼロックス 和田 洋
239	8・17	わが国教育の将来	慶応大学名誉教授 村井 実
240	9・21	中国の大学生	中原尚道
241	10・19	柳田国男と報徳	伊藤公博
242	11・16	漂白の民「山窩」	岡本好廣
243	12・21	忘年会 銀座日月亭	
		<u>2000年H12(第244~256回)(火曜日開催)</u>	
244	1・18	戦慄の音楽カルミナブラーナ	野口幹夫
245	2・15	介護保険制度の実際	シグマメディカルケアー印遠久美子
246	3・21	ヒマラヤ登山の話	登山家 柳 穰
247	4・18	山の民の盛衰「またぎ」と「木地師」	岡本好廣
248	5・16	ベトナム現地報告	杉本時哉
249	6・20	天風先生の心の学校	堀添勝身
250	7・18	ケルトとアイルランド	大利貴彦
251	8・22	日本の民謡	民謡研究家 頼久達郎
252	9・19	柳田国男と日本の協同組合	柳田研究家 古桑 実
253	10・17	古墳とヤマト政権	石坂雅彦
254	11・19	村澤泉会長 喜寿の祝い	東京ベイブリッジ
255	11・21	農地法と農地の流動化	藤本 将
256	12・5	忘年会東急赤坂ホテル ジパング	木村 勉

蔵丸横綱 法輪功を非合法化
 エリツインからプーチンへ 国旗国歌法成立。武

陳水扁総 死去↓森内閣 損保生保数社破綻
 パレスティナインティファダ 小淵

<u>2001年H13(第257~268回)</u>				
257	1・16	携帯端末の動向	山田 純(小寺氏紹介)	
258	2・20	最近の右翼ナショナリズム1		伊藤公博 野口幹夫
259	3・20	日本の牛乳		木村 勉
260	4・17	寅さんの世界	頼久 達郎(平井氏紹介)	
261	5・15	今後の我が国の行く道 1 教育 少子化	小寺氏司会	森毅一、村澤泉
262	6・19	今後の我が国の行く道 2 外交 憲法	小寺氏司会	岡本好廣 野口幹夫
263	7・17	血液胚細胞について		久米川正好
264	8・22	台風中止		
265	9・19	海外巨大企業の進出で激変の流通業界		岡本好廣
266	10・17	セルフカウンセリング		平井 保
267	11・21	最近の右翼ナショナリズム2		伊藤公博 野口幹夫
268	12・5	忘年会 代官山エクリュ		伊藤公博
<u>2002年H14(第269~280回)</u>				
269	1・16	グローバル化と日本		團野廣一
270	2・20	日本の労働組合100年		杉本時哉
271	3・20	いわゆるコンテンツ事業について	仁平幸男	
272	4・17	人々はその世をどう考えたか		野口幹夫
273	5・15	尊徳と現代をつなぐ		伊藤公博
274	6・19	蕪村再考		伊藤公胤
275	7・17	新発想の農業		村尾行一
276	8・21	教育基本法改定の諸問題		森 毅一
277	9・18	経済問題から見た今後の日中関係		岡本好廣
278	10・16	「青い閃光」東海村臨界事故		石坂雅彦
279	11・20	宗教観について 合同討議	岡本氏司会	報告者 野口幹夫
280	12・5	忘年会 丸ビルモリタや		杉本時哉

ブッシュ大統領 9月11日同時多発テロ 小泉純一郎首相 ウィキペディアが発足

ユーロ幣貨の流通開始 小泉金正日会談で日本人拉致認める 小柴田中ノーベル賞

2003年 H15 (第 281~290 回)				
281	1.15	鉄腕アトムが生まれる年 宇宙へ飛ぶ(未来科学館)		野口幹夫
282	2.19	多国間 WTO 協定		團野廣一
283	3.19	ユニクロの挑戦	清水公明	
284	4.16	現代を問う全員討論		司会野口幹夫 伊藤公博
285	5.21	これからの教育のあり方		森毅一
286	6.18	現代とはどういう時代なのか(まとめ報告)		野口幹夫
287	7.16	ハンガリー 民族と国家		岡本好弘
288	8.2	明治大正流行歌 添田唾蟬坊と知道		木村勉
289	9.17	日本の誕生 日本語の起源		小寺隆三
290	10.15	日本の開明思想の系譜		伊藤公博
291	11.19	楽しい!大好き!世界遺産	久保美智代	
292	12.3	忘年会新宿ふぐ料理カデット山田屋		
2004年 H16(第 293 回~304 回)				
293	1.21	笑いについて(ベルグソン紹介1)		野口幹夫
294	2.18	活版印刷人ドラードの生涯	青山敦夫	
295	3.17	ベンチャーキャピタルの現状		栗生晴夫
296	4.21	無意識の世界フロイトを中心にして		平井 保
297	5.19	食物と遺伝子	城西大 真野博	
298	6.16	東アジア市場統合への道		團野廣一
299	7.21	憲法 9 条につながる平和の主張		伊藤公博
300	8.18	戦後保守政治の軌跡		森毅一
301	9.15	燃料電池の現状と将来		石坂雅彦
302	10.2	フィンランド/民族と国家		岡本好廣
303	11.17	日本の誕生(その2)天皇の王権		小寺隆三
304	12.5	忘年会 レシユー		村沢泉

フセインイラク戦争に敗北 日本の株価七千円
の大底 シヤトルコロンビア号墜落

パレスチナアラファト議長死去 欧州憲法制
定の条約 ブッシュ再選。自衛隊イラク派遣

		<u>2005年 H17(第305回～第316回)</u>	<u>「山水」第3号会員の語る戦後60年</u>		メルケル独首相 福知山線脱線事故 宇宙飛行 士野口聡一シャトル打上げ	
305	1.19	ロシアの政治経済社会		岡本好廣		
306	2.16	経営人災 三菱自工のケース		團野廣一		
307	3.16	マリア様と音楽		野口幹夫		
308	4.21	私の海外体験		井上修		
309	5.18	骨リモデリングシミュレーション i-Bone	手塚建一 岐阜大			
310	6.15	私の60年全員発表		伊藤公博 伊藤公胤		
311	7.21	個人情報保護法と企業対応	辛島睦弁護士			
312	8.11	座談会 60年を語る		伊藤公博 伊藤公胤		
313	9.21	郵政解散とその後の政局	元朝日記者 堀越作治			
314	10.19	腸内細菌と免疫		木村勉		
315	11.09	よきかな! アクティブライフ	IAI 国際エンジェル連盟八幡恵介			
316	12.14	忘年会日比谷シーボニア・メンズクラブ	野口聡一出席			
		<u>2006年 H18(第317回～第327回)</u>				
317	1・18	2005年夏のデイスカバリー号のエピソード		野口幹夫		250周年フセイン死刑 世界人口65億 安倍一次内閣 モーツァルト生誕
318	2・22	「タグチメソッドと海軍」	上杉伸二(平井さん)			
319	3・15	携帯電話のグローバルな市場動向と日本企業の課題	クアルコム ジャパン野崎孝幸			
320	4・19	韓国社会と政治・経済		岡本好廣		
321	5・17	ものづくり型ベンチャービジネスの課題		團野廣一		
322	6・21	環境と森林	岩坪五郎(久米川正好)			
323	7・19～20	新農業政策	木原久			
324		倉馬の里に「小さい農業」をたずねる		伊藤公博		
325	8・16	ビールあれこれ		栗生晴夫		
326	9・20	日中ビジネスの現場からみた問題点	城島由佳(團野さん)			
327	10・18	わたしのモーツァルト・イヤー		野口幹夫		
328	11・15	落ち穂拾い—60年史で拾えなかった余滴を整理		伊藤公博、伊藤公胤		
329	12・6	新和食 るちあ				

2007年H19(第330回～第341回)			
330	1・17	情報サーピス、ソフトウェア(IT)産集を取り巻く諸問題	本荘修二(栗生晴夫)
331	2・21	女性が仕事を持つこと	渡辺みさ(平井保)
332	3・21	日中国交前の訪中について	團野廣一
333	4・18	インドの社会と政治・経済	岡本好廣
334	5・16	日本の花き産業について	伊藤公胤
335	6・20	モーツァルト異常ブームを解く	中島良能(井上修)
336	7・18	ペルグソン紹介第2回開かれた社会	野口幹夫
337	8・29-30	この1冊と私の死生観+ 鎌倉文学散歩	KKR 鎌倉 わかみや
338	9・19	日本の漁港を巡って	伊藤公博+野口幹夫
339	10・17	二宮尊徳と武者小路実篤と周作人と新しき村」を支える思いを探る	栗生晴夫
340	11・21	「7,000名のハルピン脱出」の図書の紹介	伊藤公博
341	12・12	忘年会 神楽坂の 烏茶屋	木村勉
2008年H20(第342回～第353回) 第30年			
342	1・16	アントニオ・グラムシの思想	岡本好廣
343	2・20	ようやく動き出した「ASEAN 経済連携協定」	團野廣一
344	3・19	外郎売と茶の湯	野口幹夫
345	4・16	世界の石油開発事情	河野 廉(木村 勉)
346	5・21	日本の安全保障問題	鈴木 登
347	6・18	人間のタイプ	平井 保
348	7・16	チベットの歴史と仏教	大利 貴彦
349	8・20	日本の戦後教育と教科書—その原点を探る	野口幹夫代行
350	9・17	朝鮮王国末期の国母～日韓併合の経緯『閔妃(ミンビ)暗殺』	森 毅一
351	10・15	武者小路実篤と日中反交	小寺隆三
352	11・19	今後の石油問題とエネルギー情勢・地球温暖化問題	伊藤公博
353	12・3	忘年会 佐賀昇	柿澤國男
			井上 修

潘基文国連総長
 国連 (PCC) 地球温暖化公表
 大統領サルコジ
 安倍辞任福田康夫首相
 仏

李明博大統領
 メドヴェージェフ・プーチン
 双頭
 の驚
 麻生太郎首相
 中国冷凍餃子事件

		2009年 H21(第354回～第365回) 第31年	
354	1・21	日本の神社—フラクタル構造はなぜ生まれたか	野口幹夫
355	2・18	幹細胞の研究の今とこれから	本多新(村澤泉紹介)
356	3・18	詩心を今に伝える—李白と杜甫	小関栄
357	4・15	バスクとモンドラゴン協同組合	岡本好廣
358	5・20	切手が伝えるベートーヴェンとその時代	大沼幸雄
359	6・17	躍進するブラジル	鈴木 登
360	7・15	M&A「企業合併・買収の世界的規模の展開」	井上修
361	8・19	高浜虚子と俳句雑感	栗生晴夫
362	9・16	日本における科学映画の小史、科学映像館は今	久米川正好
363	10・21	現代物理学と新しい哲学	野口幹夫
364	11・18	現代における報徳思想受容の一考察	伊藤公博
365	12・10	忘年会 森鷗外記念館團野さんの米国金融危機と世界恐慌	木村勉
		2010年 H22(第366回～第378回) 第32年	
366	1・20	大内力論と生協関連論文の再評価	岡本好廣
367	2・17	美智子妃が決まるまで—半世紀後に語れる実相	佐伯晋(木村紹介)
368	3・17	報徳思想の原点『三才報徳金毛録』	小関 栄
369	4・21	インド 過去・現在・未来	佐川雄一(鈴木登)
370	5・19	Vincent van Gogh の魅力	鈴木 登
371	6・16	海事クラスターの現況	富久尾義孝(團野紹介)
372	7・15	健康と病気と薬 くすりとリスク	遠藤浩良(久米川紹介)
373	8・19	操船シミュレーター見学/民主党政権の農業政策	富久尾義孝(團野紹介)
374	9・16	中国教科書を読んで見えてきたこと	伊藤公博
375	10・21	ベルグソンの精神についての哲学「物質と記憶」を読む	野口幹夫
376	11・18	「都市環境デザイン論」の紹介	森 毅一
377	12.5	村澤会長米寿のお祝い	横浜ベイシェラトン
378	12.12	忘年会 樋口一葉と桜肉の中江	野口幹夫

オバマ大統領就任
民主党勝利
鳩山由紀夫内閣
宇宙飛行士野口聡一
ISS長期滞在記録

アイスランド火山噴火
欧州空港を閉鎖
菅内閣
はやぶさ帰還
「あかつき」が金星に到達

2011年 H23(第 379 回～第 388 回) 第33年				
379	1・19	私流ドラッカーの読み方と学び方		岡本好廣
380	2・16	フィルムデジタル化はここまで	東京光音取締役松本一正	
	3・16	東関東大震災のため中止		
381	4・20	八木重吉、藤沢周平……明治・大正・昭和の結核との闘い		野口幹夫
381	4・20	日本経済の現状と活性化への課題(仮題)		團野廣一
382	5・18	アメリカの外交		鈴木登
383	6・15	儒教と報徳思想		小関栄
384	7・20	学校教育における日の丸君が代問題	元八王子夜間中学教師近藤順一	
385	8・17	日本の農業問題について		大和田巖・藤本將
	9・21	台風16号のため中止		
386	10・19	日本における監査役制度と今後の課題		井上修
387	11・16	心と脳の周辺散策		木村勉
388	12・14	忘年会 農林中央金庫目黒分室		伊藤公博
2012年 H24(第 389 回～第 400 回) 第34年				
389	1・18	2012年国連国際協同組合年について		岡本 好廣
390	2・15	教科書に見る日本の歴史		森 毅一
391	3・ 21	福島原発事故について		岩崎 信二
392	4・18	色彩診断治療について	系数 功	
393	5・16	「無」について		野口 幹夫
394	6・20	民主党政権への提言-野田代表への書簡		鈴木 登
395	7、18	福島原発事故に学ぶ		團野 廣一
396	8・22	森を通してみる日独文化文明の体験的比較論		村尾 行一
397	9・17	禅の心と気の理		小関 栄
398	10・17	タイ国における政治情勢の現状と今後のビジネス	村澤 嵩(会長の弟様)	
399	11・21	映像アーカイブの今後		久米川 正好
400	12. 12	忘年会 銀座サンミ		

東日本大震災・福島原発崩壊 野田佳彦内閣ピンラ
 デイン殺害 エジプトデモから政変へ

世界人口70億 習近平 金正恩 朴槿恵
 自民勝利安倍内閣 尖閣諸島国有化

2013年 H25(第401回～第411回) 第35年				
401	1・16	今ブラジルが熱い ―世界で存在感を高める、その実力を追う	筒井茂樹 元伊藤忠ブラジル支社長	
402	2・20	日本経済の中長期的課題と展望		鈴木 登
403	3・27	カール・ポラニーの思想と現代		岡本好廣
404	4・17	縄文の祭り ― 1万年の成熟を経た日本の心のルーツ		野口幹夫
405	5・15	福島原発とエネルギー問題(第2報)		岩崎信二
406	6・19	クアルコムの実業戦略とビジネスモデル	野崎孝幸 クアルコム部長	小寺氏紹介
407	7・17	天皇誕生についての一考察		森毅一
	7. 17	久米川正好氏祝賀会		
408	8・21	禅の心と無について		小関栄
409	9・18	中国の現状と日中関係		團野廣一
410	11・20	社会観察一男と女とその情景一		木村勉
411	12・18	忘年会 銀座サンミ		
2014年 H26(第412回～第424回) 第36年				
412	1・15	ベルグソン紹介4道徳と宗教の二源泉がのこしたもの		野口幹夫
413	2・19	日本の領土問題を考えよう		鈴木 登
414	3・19	最先端生命科学で今何が出来るか	本多 新准教授 (村澤さんの甥)	
415	4・16	ハイマン・ミンスキーと現在の経済・金融危機		岡本好廣
416	5・21	テレジンの子供たちとその後	林 幸子 (木村さん紹介)	
417	6・18	アメリカ経済の底力を探る		鈴木恒男
418	7・16	海外海洋プロジェクト紹介	新日鉄エンジニアリング鳥井正志氏	岩崎信二
419	8・20	特別企画 自分を語る7分間スピーチ 銀座サンミ	司会 鈴木 登	伊藤公博
420	9・17	報徳思想を広めた人		小関栄
421	10・15	伊勢神宮考		小寺隆三
422	11.15	村沢会長卒寿のお祝い	シャルダン・ド・セーヌ	
423	11・19	農業の実践と荒廃農地の再生について		藤本将
424	12・x	忘年会		鈴木 登

シリア内戦激化 スノーデン亡命 楽天優勝 和食文
 化遺産 嫦娥3号月面着

オバマケア適用開始 ウクライナ騒乱
 フランシスコ教皇選出

2015年H27(第427回～第438回) 第37年			会員外講師 敬称省略	会員講師
427	1・21	縄文語を話す人々		野口幹夫
428	2・18	「アベノミクス」はどうなるのか?		岡本好廣
429	3・18	昨今の資本市場を巡る環境の変化		井上 修
430	4・15	尊徳を発掘する	宇津木三郎	紹介伊藤公博
431	5・20	1PS 細胞その後	本多 新	紹介 村澤 泉
432	6・17	三上先生一植物と一体化した?		木村 勉
433	7・15	日本の安全保障問題を考える		鈴木 登
434	8・26	キューバ再訪		岩垂 弘
435	9・16	「神儒仏正味一粒丸」について		小関 栄
436	10・21	日本の再生と農業の産業化	絹巻康史	紹介團野廣一
特別	10・30	湯沢勝利さんを慰労する会		湯沢勝利
437	11・18	植物さんに教えられた宇宙の姿一三上先生		木村 勉
438	12・16	忘年会 (サンミ)		團野廣一/鈴木登
2016年H28(第439回～第450回) 第38年			会員外講師 敬称省略	会員講師
439	1・20	20世紀を変えたバルト3国の独立		岡本好廣
440	2・17	北朝鮮の現況		杉本茂樹
441	3・16	ベルクソン研究-5「精神のエネルギー」その1		野口幹夫
442	4・20	ゼラチンの今	真野 博	紹介久米川正好
443	5・18	ベルクソン研究-5「精神のエネルギー」その2	この会より日本記者クラブに移した	野口幹夫
444	6・15	IPS 細胞とゲノム	本多新 宮崎大准教授	紹介 村澤 泉
445	7・20	「アベノミクス」の再検証		岡本好廣
446	8・17	日本人の核意識		岩垂 弘
447	9・21	日本の政治を切る		鈴木 登
448	10・19	報徳思想の今日性		小関 栄
449	11・16	ロシア 過去・現在・未来	鈴木博信	紹介 鈴木登
450	12・21	忘年会	安芸路酔心	團野/野口

爆買い
 欧州難民問題
 『パリ協定』成立
 東芝不適切会計
 大村智・梶田隆

相模原事件
 北朝鮮ミサイル発射
 オバマキ
 ユーバ訪問
 小池百合子都知事
 ブレグジット
 トランプ大統領選勝利
 天皇生前退位表

2017年 H29(第451回～第438回) 第39年			会員外講師 敬称省略	会員講師
451	1・18	“弘化期を中心に” 尊徳の光と影		伊藤公博
452	2・15	大学教育の改革を考える		岡本好廣
453	3・15	食の安全と布マルチ稲作		藤本 将
454	4・19	精神のエネルギー その3 内にむかう精神の力		野口幹夫
455	5・17	生協の歴史－戦前編		斉藤嘉璋
456	6・21	オーリング・テストとはなにか	渡邊和夫氏	青木紀代美紹介
457	7・19	映画フィルムのデジタル化	東京光音所長 松信集秀明氏	(紹介 久米川)
458	8・30	村上春樹と多和田葉子の文学		岡本好廣
459	9・20	金融革命なるか－フィンテックとビットコイン		小関 栄
460	10・18	中小企業の現実と課題		團野廣一
461	11・15	<全員討論> テーマ:「今という時代について」		司会 岩垂弘
462	12・20	忘年会 西新橋 酔心		杉本茂樹
2018年 H30(第463回～第474回) 第40年			会員外講師 敬称省略	会員講師
463	1・20	「世俗社会を離れて信仰に生きる人々」ロシア旧教徒とアーミッシュ		岡本好廣
464	2・21	キューバ報告		杉本茂樹
465	3・28	生協の戦後の歴史と現状		斉藤嘉璋
466	4・18	「精神と氣と祈りについて」精神のエネルギーシリーズ 第4回		野口幹夫
467	5・16	「一世の素顔」上映とお話『『一世の素顔』の制作について	制作者 鷲巢敏	(紹介 久米川)
468	6・20	マスメディアの現状	小池新: 元共同通信編集委員立教大講師	(紹介 岩垂)
469	7・18	食といのちに添い続けて		青木 紀代美
470	8・29	「中国食糧、農業事情」	阮蔚 (ルアン ウエイ) 農林中金総研 理事	(紹介 大多和)
471	9・19	「金融革命なるか」フィンテックとビットコイン — その2		小関 栄
472	10・31	生命科学の最新知見	本多新 京大大学院医学研究科准教授	(紹介 村澤)
473	11・21	最近の国際情勢と我が国の対応		團野廣一
474	12・19	忘年会 八重洲海賓亭		大多和/野口

マクロン仏大統領 ローションク革命で朴槿惠罷免・文在寅大統領 トランプ「パリ協定」離脱 藤井聡太
 連続 稀勢の里横綱 「パラダイス文書」カ

文大統領と金正恩「板門店宣言」、トランプ・金正恩
 会談 西日本豪雨 関西空港閉鎖 北海道胆振東部
 地震 羽生善治井山裕太国民栄誉賞 ゴーン逮捕

		2019年 H31(第475回～第487回) 第41年	会員外講師	会員講師
475	1.23	ロバート・オウエンの思想と現代		中川雄一郎
476	2.20	「日本原記続編(1)」縄文・やよいからやまと時代へ		野口幹夫
477	3.20	「佐渡・流人の歴史」順徳院・日蓮・世阿弥など		斎藤嘉璋
478	4.17	「ロマの人々とクルド民族」今に続く差別と迫害		岡本好廣
479	5.15	「日本原記続編(2)」日本的風土の形成		野口幹夫
480	6.19	尊徳の平和論とその流れ		伊藤公博
481	7.17	「仏像と胎内仏」	多摩美術大学教授 青木淳先生	青木紀代美氏子息
482	8.21	「EUの農業政策」の動向		大多和巖
483	9.18	「報徳思想の神髄」尊徳哲学から探る		小関栄
484	10.16	「平和・協同ジャーナリスト基金の25年」		岩垂弘
485	11.20	〈討論〉「世界経済と日本の立ち位置」	(問題提起) 世界経済の現状 團野廣一	(司会)中川雄一郎
486	12.18	忘年会	八重洲魚心亭。12名	
		2020年 R2(第475～第487回) 第42年		
487	1,15	「アメリカ共和党とトランプ政権の行方」	中岡 望 元東洋英和女学院大学副学長	(紹介)岡本好廣
488	2.19	「日韓関係の現状と展望」	安尾 芳典 共同通信社客員論説委員	(紹介)岩垂弘
489	3・4・5	コロナ緊急事態で3か月例会中止		
490	6.17 ネット 開催	「小農の権利宣言」 ＜小農と農村に働く人々の権利に関する国連宣言＞を読み解く	質疑と討論はインターネットを通じて行った。	今尾 和実
491	7.15	「ベネズエラ問題を考える」ー 映像を使つての報告		杉本 茂樹
492	8.19	宇宙と人間		野口幹夫
493	9.16	ー財政破綻を招くーMMT理論と赤字財政容認論		小関 栄
494	10.21	ミャンマーの少数民族問題とロヒンギャ事件		岡本 好廣
495	11..18	＜全員討論＞「日本社会が分裂に向かう恐れはないか?」	＜問題提起＞岡本 好廣	(司会) 岡本好廣
		コロナのため忘年会中止		

2021年 R3(第496回～第501回) 第43年			会員外講師	会員講師
		コロナパンデミックのため2020年12月の忘年会より中止		
		2021年7月よりZOOM形式にて再開することとした。		
496	7-21	労働者協同組合を学ぶ	富沢賢治 一橋大学名誉教授	(この後会員となられた)
497	8-18	能狂言 その縄文の源流に迫る		野口幹夫
498	9-15	デジタル化とデジタル通貨について		小関 栄
499	10-20	ニュージーランドという国		大多和 巖
500	11-17	ミャンマー軍事クーデターの行方		岡本好廣
501	12-15	全員討議「コロナ後の日本社会を考える」		中川雄一郎 野口幹夫
2022年 R4(第502回～第514回) 第44年			会員外講師	会員講師
502				
503				
504				
505				
506				
507				
508				
509				
510				
511				
512				
513				
514				

トランプからバイデン移行 ミャンマークーデター
 東京オリパラピック開催 アフガニスタンタリバンへ
 菅→岸田内閣 衆院選挙 COP26 円標1.5C

へ。東
 運動全
 移行